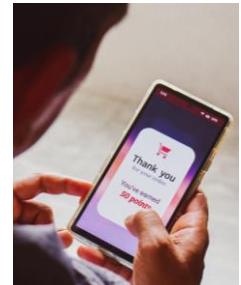


2026年2月4日
株式会社SVPジャパン

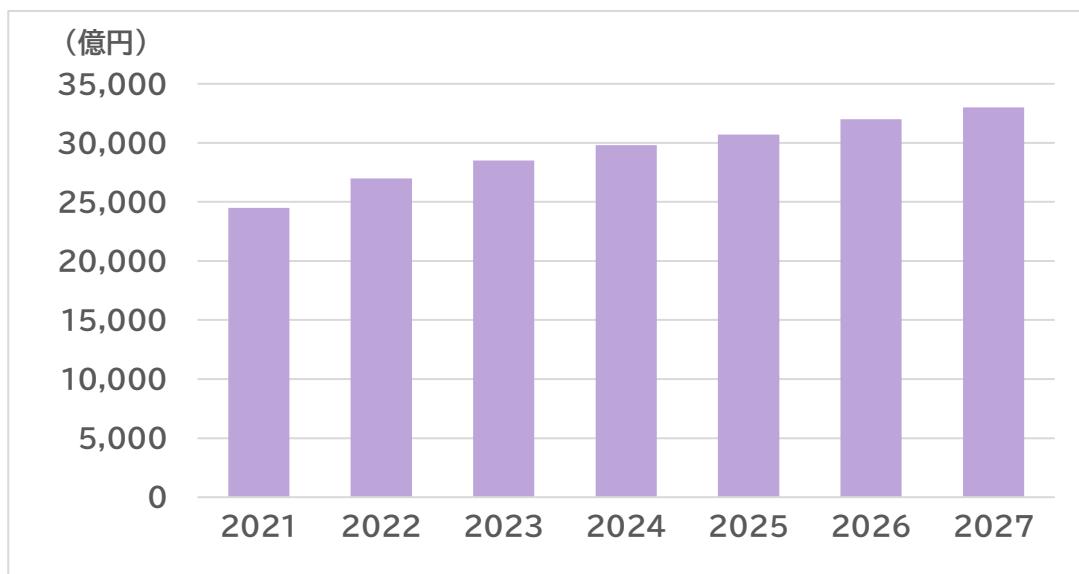
SVP注目市場分析 「ポイント消費」を公開

～「ポイ活」定着で広がるポイント消費市場～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「ポイント消費-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■ポイント消費の国内市場



近年、キャッシュレス決済の普及を背景に、ポイントを活用した消費行動が着実に拡大している。商品やサービスの購入に応じてポイントを付与し、次回以降の決済や商品・現金交換に利用できるポイントプログラムは、企業にとって重要な顧客囲い込み施策として定着している。本レポートでは、専門調査員による企業ヒアリングや各種統計、公開情報などを基に、国内のポイント消費市場の全体像と成長要因を整理した。EC事業者や通信キャリアが主導する共通ポイントプログラムの拡大に加え、モバイル決済の利便性向上や「ポイ活」の浸透により、ポイント消費は日常生活に深く組み込まれている。市場規模は足元でおおむね3兆円規模に達しているとみられ、今後も共通ポイント経済圏の広がりを背景に、緩やかな拡大基調が続くと見込まれる。

■ポイント消費の市場概況

国内のポイント消費市場では、共通ポイントプログラムを軸とした競争が激化している。中でも「楽天経済圏」の中核を担う楽天ペイメントの「楽天ポイント」と、QRコード決済を基盤に急成長したPayPayの「PayPayポイント」が、発行額ベースで市場の首位を競っている。これに続き、CCCグループのCCCMKホールディングスが運営する「Vポイント」も高い存在感を示している。各社はEC、決済、金融、通信などを横断する経済圏の拡大や、他社連携による利用シーンの拡張を進めており、dポイント、Ponta、流通系・鉄道系ポイントなども含め、多様なプレイヤーが市場を形成している。共通ポイントとハウスポイントが併存する中、ポイントサービスは企業戦略の重要な要素として位置付けられている。



■本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クリックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求



お問い合わせ



■ 次回のテーマ

3月のテーマは「生成AI」と「AIエージェント」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン
代表取締役 : 橋本 雅
所在地 : 東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-9 宮前ビル2F
設立年月日 : 1974年7月1日
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス
URL : <https://www.svpjapan.com/>

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com